



## ☆探求心を育てよう☆

長〜い梅雨空の中、太陽の日差しに恵まれず、豪雨による被害を受けられた方々もたくさんいらっしゃいます。今年、コロナウイルスの感染や梅雨時の天災など、早々から大きな試練を与えられ、毎日不安な日々を送っておりますが、園庭の夏野菜は、雨の恵みを受け、すくすくと育ち、「頑張れ!」「負けるな!」と私たちにエールを送ってくれています。早いもので、1学期も保護者の皆様のご協力のお陰で、無事終わり、大きな事故やコロナ感染者が出なかったことは、大変嬉しく、心から感謝いたします。明日から、スマイルさん(1号認定)は、夏休みに入りますが、引き続き健康には十分留意され、この夏にしかできない体験やお手伝いなどを取り入れて、有意義な日々を過ごして下さい。また、ドリームさん(2.3号認定)においても、なるべくお休みの時は、家族みずいらずの時間をゆったりと過ごしていただき、親子の絆を深めていただきたいと思います。

さて、最近の子ども達の様子に目を向けると、コロナウイルス感染予防のため、夏のお祭りが中止になったことで、かなりがっかりしているかな?と思いきや、ちょうちん、うちわ、チョコバナナ、りんご飴などを作ったり、太鼓や盆踊りをしたりして、「プチ夏祭り」を楽しんでいる姿がありました。形は変われども、創意工夫して遊びながら学ぶ子ども達は、日頃から自分で遊びを見つけ、楽しむ術を身に付けているのだなと改めて感心します。また、園生活を積み重ねていくと、泥遊びの中で、子どもの「もっともっと!」という気持ちが膨らみ、何回も試行錯誤しながら物事を達成したり、新しい発想が生れたりすることで自分の行動に自信がついていきます。収穫した野菜を食べるときも、「これ、どうやって食べたら美味しいかな?これってどうやって作るのかな?」と好奇心をもつことが多くなり、中嶋栄養士に相談したり、本で調べたり、実際に調理体験をするなどしています。自分の思いや疑問に自ら考えて行動する「探究心」が育っています。この「探究心」は、就学後の学習にとっても役立ち、将来大人になった時、何らかの困難や壁にぶつかったときに、立ち直ることができる力に繋がります。今話題の将棋界で数々の最年少記録を更新している藤井聡太氏も、幼少の頃から、「探究心」をもって将棋に打ち込んできたことが、今に生かされていると本人のインタビューで語っていました。

子ども達は、たくさんの可能性をもっています。私達保育者も、子ども達の思いを丁寧に受け止め、達成できるよう努力しておりますが、さらにご家庭でも、子ども達の思いを大切に頂き、質問に対しても、すぐ答えを教えるのではなく、一緒に考えたり、体験したりして、学ぶ機会を作ってあげてください。意欲が認められることは、新しい挑戦への一歩であり、何よりも自信が付きまします。この積み重ねが、子ども達を逞しくすると思います。

まだまだ目に見えないコロナ感染渦ではありますが、未来に羽ばたく大切な子ども達のために、生きる力の土台を私たち大人が心をつっしていきましょう。

